

資料 1

※資料中のR6年度の実績値については、
決算認定前のため、決算見込みの数値
になります。

令和6年度 業務実績報告書

令和7年8月
西宮市立中央病院

1. 令和6年度の決算状況

- ・ 医業収益は約45億6,600万円（計画比 ▲約1億4,200万円）となり、計画を下回りました。
- ・ 外来収益は計画を上回り（計画比 +約600万円）ましたが、入院患者数が計画に達しなかったことなどにより、入院収益が計画を下回った（計画比 ▲約1億7,600万円）ことが**主な要因**であると考えています。
- ・ 医業費用は主に給与費が計画を超えたことにより、約62億5,500万円（計画比 +約4,100万円）となり、計画を超えました。
- ・ 純損益は約10億8,700万円（計画比 ▲約1億6,400万円）の赤字となりました。
- ・ 単年度資金収支額は、約7億2,500万円（計画比 ▲約1億800万円）の資金不足となりました。

●収益的収支

※端数処理(四捨五入)の結果、総数と内訳の計とが一致しない場合があります。 （単位：百万円。税込）

項 目	[実績]	R6年度 [計画]	計画比	前年度実績 (R5年度)	前々年度実績 (R4年度)	前年度比 (R6-R5)	前々年度比 (R6-R4)
病院事業収益 (A)	5,282	5,399	▲117	5,384	6,461	▲102	▲1,179
医業収益 (B)	4,566	4,708	▲142	4,585	4,578	▲19	▲12
入院収益	2,459	2,635	▲176	2,482	2,497	▲23	▲38
外来収益	1,584	1,578	+6	1,598	1,567	▲14	+17
その他医業収益	523	495	+28	504	514	+18	+9
うち一般会計繰入金	268	264	+4	262	254	+6	+14
医業外収益 (C)	714	686	+28	791	1,861	▲78	▲1,148
うち一般会計繰入金	647	624	+23	592	628	+55	+19
うち新型コロナ関連補助金	0	0	±0	128	1,161	▲128	▲1,161
特別利益	3	5	▲2	8	22	▲5	▲19
病院事業費用 (D)	6,369	6,322	+47	6,355	6,450	+14	▲81
医業費用 (E)	6,255	6,214	+41	6,224	6,300	+31	▲45
給与費	3,378	3,281	+97	3,290	3,281	+88	+97
材料費	1,170	1,234	▲64	1,214	1,157	▲44	+14
うち薬品費	802	825	▲23	844	765	▲42	+37
うち診療材料費	361	400	▲39	362	382	▲1	▲21
経費	1,426	1,420	+6	1,393	1,419	+32	+6
減価償却費	244	245	▲1	301	418	▲57	▲173
その他医業費用	37	34	+3	25	26	+12	+11
医業外費用 (F)	99	97	+2	102	109	▲4	▲11
特別損失	16	11	+5	28	41	▲13	▲25
医業損益 (B-E)	▲1,689	▲1,506	▲183	▲1,640	▲1,723	▲50	+33
経常損益 (B+C) - (E+F)	▲1,074	▲917	▲157	▲951	30	▲124	▲1,104
純損益 (A-D)	▲1,087	▲923	▲164	▲971	11	▲116	▲1,098

●資本的収支

項 目	[実績]	R6年度 [計画]	計画比	前年度実績 (R5年度)	前々年度実績 (R4年度)	前年度比 (R6-R5)	前々年度比 (R6-R4)
資本的収入 (G)	405	330	+75	286	273	+119	+131
企業債	0	0	±0	44	61	▲44	▲61
出資金	214	249	▲35	230	210	▲15	+5
補助金	188	78	+110	10	0	+178	+188
他会計からの長期借入金	0	0	±0	0	0	±0	±0
その他	3	3	±0	2	3	+0	▲0
資本的支出 (H)	225	260	▲35	278	553	▲53	▲328
建設改良費	16	40	▲24	55	78	▲39	▲63
企業債償還金	199	209	▲10	218	468	▲19	▲269
その他	11	11	±0	5	8	+5	+3
収支差引 (G-H)	180	70	+110	7	▲280	+172	+460

●各種経営指標など

項 目	[実績]	R6 年度 [計画]	計画比	前年度実績 (R5 年度)	前々年度実績 (R4 年度)	前年度比 (R6 - R5)	前々年度比 (R6 - R4)
経常収支比率	83.0%	85.5%	▲2.5	84.8%	100.4%	▲1.8	▲17.4
修正医業収支比率 ^{※1}	70.0%	71.5%	▲1.5	70.7%	69.9%	▲0.7	+ 0.1
職員給与費対経常収益比率 ^{※2}	67.2%	63.6%	+ 3.6	64.5%	53.5%	+ 2.7	+ 13.7
材料費対修正医業収益比率	27.2%	27.8%	▲0.6	27.3%	25.9%	▲0.1	+ 1.3
資金収支額 ^{※3} [単年度] (百万円)	▲725	▲617	▲108	▲591	176	▲134	▲901
資金収支額 ^{※3} [累計] (百万円)	▲150	—	—	574	1,165	▲724	▲1,315

※1「修正医業収支比率」は、医業収益から他会計負担金を除いたもの(修正医業収益)を用いて算出した医業収支比率です。

※2「職員給与費」は、決算統計に計上している職員給与費(非正規職員の人件費等を含む)に事務職給与負担金を加えて算出しています。

※3「資金収支額」は、不良債務削減に係る補助金(R6年度:1.5億円)を除いて算出しています。

2. 市(一般会計)からの繰入金の状況

(1) 一般会計負担の考え方

- ・公営企業は、独立採算制を原則とすべきものですが、地方公営企業法では「その性質上経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費」及び「性質上能率的な経営を行なってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる経費」については、地方公共団体の一般会計において負担するとされています。
- ・令和元年度以前は、繰出基準の対象外となる設備投資等に係る企業債償還金や資金収支不足額の補填などについて一般会計から繰入れを受けていましたが、令和2年度以降、新型コロナ対応に伴う空床補償などの補助金を受け経営状況が改善したことにより、こうした基準外の繰入れを縮小することができました。
- ・引き続き、経営改善への取組を継続し繰出基準の対象外となる一般会計からの繰入額の減少に努めます。

(2) 令和6年度の一般会計からの繰入金の状況

- ・病院運営に関する「収益的収支」の繰入額は約9億1,500万円(計画比+約2,700万円)となり、計画を上回りました。
- ・投資に関する「資本的収支」の繰入額は約4億200万円(計画比+約7,500万円)となり、計画を上回りました。
- ・全体として繰入額が計画を超えた要因として、基準外繰入金として不良債務削減にかかる補助金(1.5億円)を計上したことが挙げられます。

●一般会計からの繰入金

(単位:百万円)

区分	[実績]	R6 年度 [計画]	計画比	前年度実績 (R5 年度)	前々年度実績 (R4 年度)	前年度比 (R6 - R5)	前々年度比 (R6 - R4)
収益的収支	915	888	+ 27	853	881	+ 62	+ 33
基準外繰入金 [※]	8	5	+ 3	0	0	+ 8	+ 8
資本的収支	402	327	+ 75	240	210	+ 162	+ 193
基準外繰入金 [※]	295	164	+ 131	125	0	+ 170	+ 295
合計	1,317	1,215	+ 102	1,093	1,091	+ 224	+ 226
基準外繰入金 [※]	303	169	+ 134	125	0	+ 178	+ 303

※「基準外繰入金」とは、他会計から公営企業会計へ繰り入れる経費のうち「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づかない繰入金をいいます。

3. 業務実績

【入院】

- ・病院全体での1日平均患者数は112.0人/日（計画比 ▲9.0人/日、前年比 +3.5人/日）となり、計画を下回りました。
- ・新入院患者数は3,796人（計画比 ▲204人、前年比 +215人）となり、計画を下回りました。
- ・入院診療単価は60,150円（計画比 +650円）となり、計画を上回りました。
- ・前年度との比較では、令和6年の診療報酬改定に伴い急性期一般入院基本料の施設基準が見直されたため、同基本料1から2に届出を変更したことなどの影響により、**2,329円減少**しました。

【外来】

- ・1日平均患者数は383.1人/日（計画比 ▲6.9人/日、前年比 ▲1.0人/日）となり、計画を下回りました。
- ・外来診療単価は17,016円（計画比 +366円、前年比 ▲93円）となり、計画を上回りました。

【その他】

- ・救急搬送要請件数は2,014件（前年比 ▲555件）となり、前年度に比べて減少しました。
- ・コロナ禍に比べて近隣の医療機関の受入状況が改善したことにより、結果的に中央病院への要請件数が減少したと考えています。
- ・救急搬送受入件数は1,223件（計画比 ▲277件、前年比 ▲272件）となり、計画を下回りました。
- ・救急搬送応需率は60.7%で、診療中などの理由でやむを得ずお断りした事例を要請件数から差し引いて算出した補正後の応需率は99.3%（計画比 ▲0.7%）でした。
- ・紹介件数は11,238件（計画比 ▲372件、前年比 +497件）となり計画を下回りました。
- ・逆紹介件数は10,814件（計画比 +414件、前年比 +845件）となり、計画を上回りました。

●病院全体の状況

項目		単位	実績	R6年度 [計画]	計画比	前年度実績 (R5年度)	前々年度実績 (R4年度)	前年度比 (R6-R5)	前々年度比 (R6-R4)
入院	1日平均患者数	人/日	112.0	121.0	▲9.0	108.5	107.5	+3.5	+4.5
	病床稼働率(151床)	%	74.2	80.0	▲5.8	71.9	71.2	+2.3	+3.0
	新入院患者数	人	3,796	4,000	▲204	3,705	3,731	+91	+65
	平均在院日数	日	10.8	11.0	▲0.2	10.7	10.5	+0.1	+0.3
	入院診療単価	円	60,150	59,500	+650	62,479	63,656	▲2,329	▲3,506
外来	1日平均患者数	人/日	383.1	390.0	▲6.9	384.1	390.4	▲1.0	▲7.3
	初診患者数	人/日	43.2	—	—	42.9	46.9	+0.3	▲3.7
	外来診療単価	円	17,016	16,650	+366	17,109	16,518	▲93	+498
その他	救急搬送要請件数	件	2,014	—	—	2,569	2,691	▲555	▲677
	救急搬送受入件数	件	1,223	1,500	▲277	1,495	1,445	▲272	▲222
	救急搬送応需率	%	60.7	—	—	58.2	53.7	+2.5	+7.0
	応需率(補正後)*	%	99.3	100.0	▲0.7	99.0	97.8	+0.3	+1.5
	紹介率	%	86.5	79.0	+7.5	84.0	78.1	+2.5	+8.4
	紹介件数	件	11,028	11,400	▲372	10,531	10,345	+497	+683
	逆紹介率	%	105.2	89.0	+16.2	100.3	88.1	+4.9	+17.1
	逆紹介件数	件	10,814	10,400	+414	9,969	9,414	+845	+1,400

*「応需率(補正後)」は、診療中などの理由でやむを得ずお断りした事例を要請件数から差し引いて算出した応需率です。

●診療科別の入院関連実績

診療科	項目	単位	R 6 年度 [実績]	R 5 年度 [実績]	R 4 年度 [実績]	前年度比(R 6 -R 5)		前々年度比(R 6 -R 4)	
						増減	増減率	増減	増減率
内科	入院収益	千円	1,277,133	1,242,299	1,341,824	+ 34,834	+ 2.8%	▲64,691	▲ 4.8%
	入院患者数	人	24,874	22,851	23,535	+ 2,023	+ 8.9%	+ 1,339	+ 5.7%
	新入院患者数	人	1,955	1,863	1,921	+ 92	+ 4.9%	+ 34	+ 1.8%
	入院手術件数	件	377	370	501	+ 7	+ 1.9%	▲124	▲ 24.8%
外科	入院収益	千円	466,878	486,921	450,956	▲20,043	▲ 4.1%	+ 15,922	+ 3.5%
	入院患者数	人	5,271	5,240	5,043	+ 31	+ 0.6%	+ 228	+ 4.5%
	新入院患者数	人	460	466	446	▲6	▲ 1.3%	+ 14	+ 3.1%
	入院手術件数	件	396	415	414	▲19	▲ 4.6%	▲18	▲ 4.3%
整形外科	入院収益	千円	71,400	125,901	124,458	▲54,500	▲ 43.3%	▲53,057	▲ 42.6%
	入院患者数	人	1,154	2,344	2,336	▲1,190	▲ 50.8%	▲1,182	▲ 50.6%
	新入院患者数	人	130	147	151	▲17	▲ 11.6%	▲21	▲ 13.9%
	入院手術件数	件	108	109	122	▲1	▲ 0.9%	▲14	▲ 11.5%
小児科	入院収益	千円	121,124	122,106	98,681	▲982	▲ 0.8%	+ 22,443	+ 22.7%
	入院患者数	人	1,056	1,219	880	▲163	▲ 13.4%	+ 176	+ 20.0%
	新入院患者数	人	283	298	232	▲15	▲ 5.0%	+ 51	+ 22.0%
	入院手術件数	件	2	1	0	+ 1	+ 100.0%	+ 2	皆増
皮膚科	入院収益	千円	68,743	68,278	65,101	+ 464	+ 0.7%	+ 3,642	+ 5.6%
	入院患者数	人	1,544	1,574	1,460	▲30	▲ 1.9%	+ 84	+ 5.8%
	新入院患者数	人	145	110	125	+ 35	+ 31.8%	+ 20	+ 16.0%
	入院手術件数	件	48	50	60	▲2	▲ 4.0%	▲12	▲ 20.0%
泌尿器科	入院収益	千円	398,548	353,784	314,028	+ 44,764	+ 12.7%	+ 84,520	+ 26.9%
	入院患者数	人	5,801	4,842	4,436	+ 959	+ 19.8%	+ 1,365	+ 30.8%
	新入院患者数	人	566	526	463	+ 40	+ 7.6%	+ 103	+ 22.2%
	入院手術件数	件	399	348	310	+ 51	+ 14.7%	+ 89	+ 28.7%
眼科	入院収益	千円	25,207	30,162	55,636	▲4,955	▲ 16.4%	▲30,429	▲ 54.7%
	入院患者数	人	252	308	524	▲56	▲ 18.2%	▲272	▲ 51.9%
	新入院患者数	人	121	139	257	▲18	▲ 12.9%	▲136	▲ 52.9%
	入院手術件数	件	122	144	266	▲22	▲ 15.3%	▲144	▲ 54.1%
歯科口腔外科	入院収益	千円	42,007	59,134	42,511	▲17,127	▲ 29.0%	▲504	▲ 1.2%
	入院患者数	人	699	954	759	▲255	▲ 26.7%	▲60	▲ 7.9%
	新入院患者数	人	106	128	112	▲22	▲ 17.2%	▲6	▲ 5.4%
	入院手術件数	件	242	284	240	▲42	▲ 14.8%	+ 2	+ 0.8%
麻酔科	入院収益	千円	16,328	19,427	23,809	▲3,098	▲ 15.9%	▲7,480	▲ 31.4%
	入院患者数	人	227	391	251	▲164	▲ 41.9%	▲24	▲ 9.6%
	新入院患者数	人	30	28	24	+ 2	+ 7.1%	+ 6	+ 25.0%
	入院手術件数	件	19	18	18	+ 1	+ 5.6%	+ 1	+ 5.6%

●診療科別の外来関連実績

診療科	項目	単位	R 6 年度 [実績]	R 5 年度 [実績]	R 4 年度 [実績]	前年度比(R 6 -R 5)		前々年度比(R 6 -R 4)	
						増減	増減率	増減	増減率
内科	外来収益	千円	704,998	697,823	681,482	+ 7,176	+ 1.0%	+23,517	+ 3.5%
	外来患者数	人	27,556	27,413	27,698	+ 143	+ 0.5%	▲142	▲ 0.5%
	紹介件数	件	3,258	2,969	2,978	+ 289	+ 9.7%	+ 280	+ 9.4%
	逆紹介件数	件	3,115	2,858	2,700	+ 257	+ 9.0%	+ 415	+ 15.4%
外科	外来収益	千円	210,737	228,826	238,009	▲18,089	▲ 7.9%	▲27,272	▲ 11.5%
	外来患者数	人	8,988	9,102	9,550	▲114	▲ 1.3%	▲562	▲ 5.9%
	紹介件数	件	342	372	397	▲30	▲ 8.1%	▲55	▲ 13.9%
	逆紹介件数	件	511	575	528	▲64	▲ 11.1%	▲17	▲ 3.2%
整形外科	外来収益	千円	52,465	56,339	57,622	▲3,874	▲ 6.9%	▲5,157	▲ 8.9%
	外来患者数	人	5,579	5,773	6,031	▲194	▲ 3.4%	▲452	▲ 7.5%
	紹介件数	件	625	627	651	▲2	▲ 0.3%	▲26	▲ 4.0%
	逆紹介件数	件	661	652	610	+ 9	+ 1.4%	+ 51	+ 8.4%
小児科	外来収益	千円	45,211	45,164	47,907	+ 47	+ 0.1%	▲2,696	▲ 5.6%
	外来患者数	人	4,734	4,847	4,945	▲113	▲ 2.3%	▲211	▲ 4.3%
	紹介件数	件	700	661	538	+ 39	+ 5.9%	+ 162	+ 30.1%
	逆紹介件数	件	253	190	155	+ 63	+ 33.2%	+ 98	+ 63.2%
皮膚科	外来収益	千円	87,969	83,883	87,998	+ 4,086	+ 4.9%	▲29	▲ 0.0%
	外来患者数	人	9,080	9,245	8,626	▲165	▲ 1.8%	+ 454	+ 5.3%
	紹介件数	件	1,046	976	904	+ 70	+ 7.2%	+ 142	+ 15.7%
	逆紹介件数	件	987	762	572	+ 225	+ 29.5%	+ 415	+ 72.6%
泌尿器科	外来収益	千円	182,412	196,036	171,510	▲13,623	▲ 6.9%	+ 10,902	+ 6.4%
	外来患者数	人	10,850	11,397	11,197	▲547	▲ 4.8%	▲347	▲ 3.1%
	紹介件数	件	621	623	605	▲2	▲ 0.3%	+ 16	+ 2.6%
	逆紹介件数	件	1,083	919	799	+ 164	+ 17.8%	+ 284	+ 35.5%
眼科	外来収益	千円	33,321	33,011	40,885	+ 310	+ 0.9%	▲7,564	▲ 18.5%
	外来患者数	人	3,808	3,956	4,549	▲148	▲ 3.7%	▲741	▲ 16.3%
	紹介件数	人	162	138	195	+ 24	+ 17.4%	▲33	▲ 16.9%
	逆紹介件数	人	158	143	227	+ 15	+ 10.5%	▲69	▲ 30.4%
歯科口腔外科	外来収益	千円	69,966	63,165	61,058	+ 6,801	+ 10.8%	+ 8,908	+ 14.6%
	外来患者数	人	6,370	5,831	5,977	+ 539	+ 9.2%	+ 393	+ 6.6%
	紹介件数	件	1,185	1,036	960	+ 149	+ 14.4%	+ 225	+ 23.4%
	逆紹介件数	件	988	861	885	+ 127	+ 14.8%	+ 103	+ 11.6%
麻酔科	外来収益	千円	69,966	67,049	69,463	+ 2,917	+ 4.4%	+ 503	+ 0.7%
	外来患者数	人	9,079	8,461	8,708	+ 618	+ 7.3%	+ 371	+ 4.3%
	紹介件数	件	189	182	214	+ 7	+ 3.8%	▲25	▲ 11.7%
	逆紹介件数	件	94	100	88	▲6	▲ 6.0%	+ 6	+ 6.8%

4. 経営改革プランの取組の実施状況

●評価基準

< 中央病院の自己評価 >

評価	内 容
5	計画を大幅に上回っている
4	計画を上回っている
3	概ね計画どおりである
2	計画を下回っている
1	計画を大幅に下回っている

< 審議会の評価 >

評価	内 容
A	計画に対して具体的に取組んでおり、顕著な成果が認められる
B	計画に対して具体的に取組んでおり、成果が認められる
C	計画に対する取組はあるものの、十分な成果が現れていない
D	計画に対する取組が不十分である

●医療サービスの向上に向けた取組

(1) 急性期病院としての機能充実

経営改革プランの 主な取組方針	関連指標など	前々年度実績 (R4年度)	前年度実績 (R5年度)	R6年度		病院の自己評価		審議会の評価	
				実績	計画	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度
①がん医療の充実						3	4	B	
・集学的治療の充実 ・がん相談支援体制の充実 ・がん連携パスの利用推進	・がん手術件数 ・放射線治療実施件数 ・化学療法実施件数 ・がん登録者数 ・がん支援相談受付件数 ・患者の会開催状況 ・がん連携パス使用件数	296 件 1,948 件 1,160 件 651 件 939 件 0回(0人) 0 件	316 件 1,776 件 1,189 件 613 件 916 件 3回(48人) 3 件	320 件 2,078 件 1,235 件 617 件 1,129 件 3回(34人) 4 件	320 件 2,220 件 1,300 件 － － － 10 件	<自己評価の理由、分析など> 集学的治療における診療実績は、計画を下回った項目はあるものの、 全体的に前年度以上の実績を確保 できました。特に、がん手術件数については、呼吸器（肺）や泌尿器（膀胱、前立腺、腎臓）の件数増加などにより、前年度の実績を上回り、計画と同程度の実績を確保できました。			
②救急医療の充実						3	3	B	
・救急搬送要請件数の増加への対応 ・救急患者受入基準の遵守	・救急搬送要請件数 ・救急搬送受入件数 ・救急搬送応需率 ・応需率(補正後) [※] ※「応需率(補正後)」は、診療中などの理由でやむを得ずお断りした事例を要請件数から差し引いて算出した応需率です。	2,691 件 1,445 件 53.7% 97.8%	2,569 件 1,495 件 58.2% 99.0%	2,014 件 1,223 件 60.7% 99.3%	－ 1,500 件 － 100.0%	<自己評価の理由、分析など> 救急搬送要請件数の減少に伴い、 救急搬送受入件数は計画を下回りました 。救急搬送応需率は60％台と依然低いものの、補正後の応需率は100％に近づきつつあり、当院で受け入れるべき症例については受け入れることができています。			
③質の高い医療を提供するための体制・設備の整備						3	3	B	
・低侵襲治療の推進 ・チーム医療の推進 ・クリニカルパスの活用	・内視鏡手術件数 ・腹腔鏡手術件数 ・胸腔鏡手術件数 ・循環器系手術件数 ・ダヴィンチ手術件数 ・リハビリの実施件数 ・クリニカルパス適用率	641 件 280 件 42 件 74 件 62 件 33,556 単位 46.4%	563 件 288 件 37 件 55 件 86 件 35,815 単位 43.2%	559 件 275 件 36 件 34 件 89 件 35,563 単位 45.6%	－ － － － － － －	<自己評価の理由、分析など> 全体的に前年度と同水準の実績を確保 できました。ダヴィンチ手術については、R6年1月に「ロボット手術センター」を開設し、横断的な連携を図ることによって、患者により安全で質の高い手術の提供を目指した体制が構築されたことに加えて、消化器外科（結腸）での件数が増加（＋5 件）しました。			

(2) 地域医療への貢献

経営改革プランの 主な取組方針	関連指標など	前々年度実績 (R4年度)	前年度実績 (R5年度)	R6年度		病院の自己評価		審議会の評価	
				実績	計画	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度
①地域の医療機関などとの役割分担・連携強化						4	4	A	
・地域の医療機関などとの役割分担・連携強化 ・診療所訪問の強化	・紹介件数 ・逆紹介件数 ・診療所訪問件数	10,345 件 9,414 件 67 件	10,531 件 9,969 件 207 件	11,028 件 10,814 件 211 件	11,400 件 10,400 件 200 件	<自己評価の理由、分析など> <u>紹介件数は計画を下回ったものの、逆紹介件数は計画を上回りました。</u> なお、いずれも前年度実績を上回りました。診療所訪問については、多くの医師の協力を得ながら、病院統合や各科のPRなどの情報を積極的に発信する機会として病院を挙げて取り組んだ結果、計画以上の件数を達成できました。			
②地域包括ケアシステムの構築を念頭に置いた取組						3	4	B	
・医療と介護の連携推進	・入退院支援加算 ・介護支援等連携指導料 ・退院時共同指導料	507 件 24 件 27 件	676 件 40 件 23 件	817 件 77 件 58 件	－ － －	<自己評価の理由、分析など> <u>各種指標はすべて前年度実績を上回りました。</u> 特に、入退院支援加算については、患者総合支援センターの部門目標として掲げ、重点的に取組を行ったことにより、前年度に比べて大幅に増加しました。			
③地域の中核病院としての貢献						4	4	A	
・地域医療の中核を担う体制の維持・向上 ・画像診断のさらなる要請への対応 ・地域の医療従事者も参加可能な院内研修の実施	・紹介率 ・逆紹介率 ・MRI撮影件数 - 紹介件数 ・CT撮影件数 - 紹介件数 ・地域の医療従事者の研修等の参加人数	78.1% 88.1% 4,507 件 1,943 件 8,124 件 915 件 3 回 37 人	84.0% 100.3% 4,468 件 2,023 件 8,438 件 882 件 4 回 98 人	86.5% 105.2% 4,282 件 1,930 件 8,920 件 939 件 11 回 68 人	78% 88% － － － － － －	<自己評価の理由、分析など> <u>紹介率及び逆紹介率は、計画及び前年度実績を上回りました。</u> MRI及びCTの撮影件数のうち紹介件数については、MRIは概ね前年度と同水準の実績、CTは前年度を上回る実績を確保できました。			
④地域に不足する医療機能への対応						3	3	B	
・小児2次救急輪番体制の維持・強化 ・皮膚科、眼科、歯科口腔外科を有する病院として地域医療への貢献	・救急搬送受入件数(再掲) - 小児科 ・皮膚科の診療実績 - 新入院患者数 - 入院手術件数 ・眼科の診療実績 - 新入院患者数 - 入院手術件数 ・歯科口腔外科の診療実績 - 新入院患者数 - 入院手術件数	1,445 件 330 件 125 人 60 件 257 人 266 件 112 人 240 件	1,495 件 384 件 110 人 50 件 139 人 144 件 128 人 284 件	1,223 件 294 件 145 人 48 件 121 人 122 件 106 人 242 件	1,500 件 － － － － － － －	<自己評価の理由、分析など> <u>全体的には前年度と同水準の実績を確保</u> できました。眼科については、医師の体制変更（R4年度途中で常勤医師が退職。R5年度から常勤医師不在）の影響があります。			
⑤生涯教育の充実						3	3	C	
・市民の生涯教育の充実 ・職員による各種学会への参加や発表、論文の執筆などの支援	・市民健康講座（Web配信のみ含む） ・学会発表（研究会発表含む） ・論文発表	年 0 回 84 件 32 件	年 3 回 76 件 15 件	年 2 回 85 件 19 件	－ － －	<自己評価の理由、分析など> <u>市民健康講座</u> については、講演者（医師）や会場の確保などの都合により、前年度に比べて <u>開催回数</u> <u>が減少</u> しました。			

(3) 患者サービスの向上

経営改革プランの 主な取組方針	関連指標など	前々年度実績	前年度実績	R6年度		病院の自己評価		審議会の評価	
		(R4年度)	(R5年度)	実績	計画	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度
①職員への意識啓発						3	3	B	
・接遇への意識の向上 ・医療安全に関する意識 の向上	・接遇研修 ・患者アンケートの実施 ・インシデント発生状況 - 報告件数 - 報告率 (報告数/入院患者延べ数)	1 回 2 回 1,197 件 3.05%	1 回 2 回 1,391 件 3.50%	1 回 2 回 1,644 件 4.00%	1回以上 3回以上 － －	<自己評価の理由、分析など> 医療安全に関する意識の醸成に取 組み、 <u>インシデント報告率は前年 度実績を上回りました。</u>			
②情報発信の強化						3	3	B	
・ホームページ等を活用 した積極的な情報発信 ・地域の医療機関への情 報発信の強化	・「中央病院だより」の発行 ・メーリングリストでの 情報発信回数 ※「中央病院だより」は、R4年度まで毎月発行していましたが、 作成にかかる事務負担の軽減や経費削減の観点から、R5年度から 隔月発行としました。	12 回 11 回	6 回 11 回	6 回 12 回	隔月発行 －	<自己評価の理由、分析など> クリニック向けのPRについては、 <u>中央病院だよりやメーリングリス トの活用を継続</u> するとともに、 <u>診 療所訪問（211件/年）を通じた広 報</u> を展開しました。市民向けのPR については、ホームページで決算 状況や市からの繰入金の情報を公 開しています。			

(4) 危機管理体制の充実

経営改革プランの 主な取組方針	関連指標など	前年度実績 (R4年度)	前年度実績 (R5年度)	R6年度		病院の自己評価		審議会の評価	
				実績	計画	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度
①災害時医療への対応						3	3	B	
・災害発生時の患者受入 訓練	・訓練の実施回数	1 回	1 回	1 回	1回以上	<自己評価の理由、分析など> 災害発生を想定した <u>訓練を毎年度 実施</u> しています。			
②新興感染症の感染拡大時に備えた対応						3	3	B	
・BCPに基づく対応 ・専門人材の育成、確保 ・感染防護具の備蓄	・院内研修実施回数 ・感染対策向上加算 1 ※ の算定維持 ※「感染対策向上加算」は、組織的な感染防止対策に関する施設基準（院内に感染制御チームを設置、新興感染症の発生時等に都道府県等の要請を受けて感染症患者を受け入れる体制等の確保など）に適合しているものと認められる場合に算定可能。	2 回 算定	2 回 算定	2 回 算定	－ －	<自己評価の理由、分析など> <u>感染対策向上加算 1 の算定を維持</u> し、感染拡大時においても、一般診療への影響を最小限に抑え、継続的に医療を提供できる体制の維持に努めています。			

(5) 職員の意識改革と組織変革

経営改革プランの 主な取組方針	関連指標など	前年度実績	前年度実績	R6年度		病院の自己評価		審議会の評価	
		(R4年度)	(R5年度)	実績	計画	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度
①職員のアクティビティとモチベーションの向上						3	3	B	
・業績報告会、職員表彰 制度の充実 ・「グッジョブ & サンクスカード」の活用 ・働き方改革の推進 ・目標に対する到達度や 業績内容が給与に反映 される仕組みの導入	・業績報告会の実施回数	1 回	1 回	1 回	1回以上	<自己評価の理由、分析など> <u>業績報告会及び職員表彰制度の取 組を継続実施</u> しています。			
	・職員表彰制度の実施回数	1 回	1 回	1 回	1回以上				
	・「グッジョブ & サンクスカード」投票数	198 件	140 件	130 件	1回以上				
	※「グッジョブ&サンクスカード」は、職員が相互に感謝の気持ちを伝え合う ことで、職員個人のモチベーションアップを図る取組です。								

(5) 職員の意識改革と組織変革

経営改革プランの 主な取組方針	関連指標など	前年度実績 (R4年度)	前年度実績 (R5年度)	R6年度		病院の自己評価		審議会の評価	
				実績	計画	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度
②デジタル化への対応						3	3	B	
・ペーパーレス化の推進 ・マイナンバーカードの健康保険証 利用の促進 ・サイバーセキュリティ対策の 強化・徹底	・コピー用紙購入量※1	3,153千枚	2,840千枚	2,685千枚	—	<自己評価の理由、分析など> ペーパーレス化については、意識啓 発に加えて、院内の各会議におい て紙資料を廃止し、タブレット端 末やPC持ち込みで資料を閲覧する 運用を継続しており、 コピー用紙購 入量は減少 しています。 マイナンバーカードの健康保険証 利用の促進については、 利用率は 増加傾向 にあります。 サイバーセキュリティ対策について は、 有事に備えたバックアップ体 制の確保を継続 しています。			
	・マイナンバーカード利用率※2	—	6%	27.8%	—				
		(R5年度下期)	(R7年3月)						
	・診療録管理体制加算1※3	算定	算定	算定					
の算定維持									
※1 購入量は、A4サイズに換算した場合の実績値です。									
※2 「利用率」は、利用者数/外来レセプト数により算出しています。									
※3 「診療録管理体制加算1」は、適切な診療記録の管理を行っている体制 を評価するもので、非常時に備えた医療情報システムのバックアップ 体制を確保すること等の施設基準に適合している場合に算定可能です。									
③組織の活性化						3	3	B	
・職員全員が病院全体の 目標を共有する仕組み の充実	・部門別ヒアリング実施回数	2回	2回	2回	—	<自己評価の理由、分析など> 部門別ヒアリングの実施や事業管 理者からの全職員へのメッセージ 配信などの取組みを継続実施 してい ます。			
	・事業管理者メッセージ	26回	23回	20回	—				

●経営の健全化に向けた取組

(1) 病床稼働率の向上

経営改革プランの 主な取組方針	関連指標など	前々年度実績 (R4年度)	前年度実績 (R5年度)	R6年度		病院の自己評価		審議会の評価	
				実績	計画	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度
①地域の医療機関等との連携強化による医療機能の利用促進						2	2	C	
・診療所訪問などを通じた診療所との連携強化	・新入院患者数 ＜経路別＞ - 紹介から - 救急から - 上記以外	3,731 人 1,803 人 501 人 1,427 人	3,705 人 1,911 人 643 人 1,151 人	3,796 人 1,979 人 571 人 1,246 人	4,000 人 － － －	<自己評価の理由、分析など> 診療所訪問などを通じて紹介患者の獲得に努め、紹介からの新入院患者数の増加を図りました。 紹介からの新入院患者数及び全体としても前年度以上の実績を確保 でしたが、 結果的に計画には届きませんでした。			
②救急医療の充実（再掲）						3	3	B	
③病床稼働率確保に向けた意識の醸成						2	2	C	
・各診療科のリーダー、ベッドコントロールを担う看護部への意識啓発	・病床稼働率（151床） ・1日平均入院患者数（人/日） ＜稼働病床数について＞ 令和5年度より、稼働病床数は151床（3病棟体制）で運用しています。病院全体の目標は稼働率80%（121人/日）です。	71.2% 107.5	71.9% 108.5	74.2% 112.0	80% 121.0	<自己評価の理由、分析など> 診療所訪問などを通じて紹介患者の獲得に努めたことなどにより、単月では7月、8月と80%を超える月もありましたが、秋頃の稼働率の伸び悩みがあり、結果的に 病床稼働率は前年度に比べて増加しましたが、計画には届きませんでした。			
④データ分析に基づく病院経営の実践						3	3	B	
・DPCデータの活用	・診療科等の求めに応じて対応した件数	44件	53件	59件	－	<自己評価の理由、分析など> DPCデータを活用し、 診療科別の疾患別統計データを毎月作成、配信 するとともに、 診療科等の求めに応じて、各種資料作成や分析 を行っています。			
⑤業務指標及び経営状況の情報共有の徹底						3	3	B	
・職員の経営参画意識の高揚	・事業管理者メッセージ（再掲） ・運営協議会※における各部門からの報告件数 ※「運営協議会」は、各部門の長が出席する会議で、毎月定例開催しています。会議では主に事務局から前月の業務指標及び経営状況やその他周知が必要な事項を報告しています。	26回 －	23回 8回	20回 8回	－ －	<自己評価の理由、分析など> 経営会議（毎週開催）及び運営協議会（毎月開催）において、 業務指標及び経営状況の情報共有 を行っています。また、令和5年度から各部門の新たな取組や医療の質・安全性の向上、業務の効率化などの取組を共有する仕組みとして運営協議会での報告を実施し、令和6年度も継続しています。			

(2) 診療単価の増加

経営改革プランの 主な取組方針	関連指標など	前々年度実績 (R4年度)	前年度実績 (R5年度)	R6年度		病院の自己評価		審議会の評価	
				実績	計画	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度
①適切な診療報酬の確保						4	4	B	
・診療報酬加算の取得、 維持	・入院診療単価	63,656 円	62,479 円	60,150 円	59,500 円	<自己評価の理由、分析など> 診療単価は入院、外来ともに計画を上回りました。 前年度との比較では、一般病棟入院料1から2に届出を変更したことなどにより、入院診療単価は減少しました。			
	・外来診療単価	16,518 円	17,109 円	17,016 円	16,650 円				

(3) 費用の適正化

経営改革プランの 主な取組方針		関連指標など	前々年度実績 (R4年度)	前年度実績 (R5年度)	R6年度		病院の自己評価		審議会の評価		
					実績	計画	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度	
①診療材料費の適正化							3	3	B		
・安価な同種同効品への 切り替え促進	・診療材料費対修正医業収益比率 - 診療材料費（百万円）	8.1% 348	8.4% 362	8.4% 361	9.0% 400	<自己評価の理由、分析など> 診療材料費対修正医業収益比率は、計画よりも抑制できました。 なお、診療材料については、現場 に対して安価な同種同効品への切替 の提案を継続的に行い、メーカー 間の競争を促すことで単価の引下 げを行うなどの取組みを実施してい ます。令和6年度においては、約 150万円の削減効果がありました。					
②後発医薬品の積極的な利用							4	4	A		
・後発医薬品の積極利用 ・バイオ後続品 [※] 使用促進	・後発医薬品の使用割合 ・バイオ後続品使用実績 - 購入額（千円） - 採用品目数	87.9% 7,983千円 9品目	90.2% 7,431千円 10品目	90.9% 9,437千円 10品目	90% － －	<自己評価の理由、分析など> 薬剤部を中心に後発医薬品の積極 的な利用に継続的に取り組んでお り、 使用割合は計画を上回しまし た。 また、バイオ後続品使用実績も 増加傾向にあります。					
※「バイオ後続品」とは、国内で既に新有効成分含有医薬品として承認されたバイオテクノロジー応用医薬品（先行バイオ医薬品）と同等・同質の品質、安全性、有効性を有する医薬品として、異なる製造販売業者により開発される医薬品です。											
③職員数の適正化等							2	2	B		
・診療機能の維持・向上 に必要な医療スタッフ の確保 ・適正な職員給与費の 維持・改善	・職員給与費対経常収益比率 ・職員給与費 [※] （百万円）	53.5% 3,266	64.5% 3,275	67.2% 3,361	63.6% 3,266	<自己評価の理由、分析など> 職員給与費対経常収益比率とともに、職員給与費も計画を上回りました。 医業収益のさらなる向上に 努めることで、比率の改善を図っ ていきます。					
※「職員給与費」は、決算統計に計上している職員給与費(非正規職員の人件費等を含む)に事務職給与負担金を加えて算出しています。											

令和7年度の経営状況（第1四半期）

（1）収支状況

（単位：百万円）

項 目	計画との比較				前年度との比較		
	R 7 実績 (A)	計画値 (B)	増減値 (A)-(B)	達成率 (A)/(B)	R 6 実績 (C)	増減値 (A)-(C)	増減率 ((A)-(C))/(C)
医業収益	1,095	1,174	▲ 79	93.3%	1,185	▲ 91	▲ 7.6%
入院収益	583	657	▲ 74	88.7%	640	▲ 57	▲ 8.9%
外来収益	386	393	▲ 7	98.2%	408	▲ 22	▲ 5.4%
その他医業収益	126	123	+ 2	102.0%	137	▲ 11	▲ 8.3%
医業費用	1,434	1,423	+ 11	100.7%	1,458	▲ 24	▲ 1.7%
給与費	746	727	+ 19	102.6%	760	▲ 14	▲ 1.8%
材料費	282	308	▲ 26	91.7%	296	▲ 14	▲ 4.8%
経費	341	322	+ 19	106.0%	333	+ 8	+ 2.3%
減価償却費	58	58	+ 0	100.0%	61	▲ 3	▲ 4.8%
その他医業費用	6	8	▲ 2	74.1%	7	▲ 1	▲ 15.3%
医業収支	▲ 339	▲ 249	▲ 90	—	▲ 272	▲ 66	—
医業外収益	189	163	+ 26	115.7%	172	+ 17	+ 9.8%
医業外費用	24	24	+ 0	101.3%	24	+ 0	+ 0.8%
経常収支	▲ 174	▲ 110	▲ 64	—	▲ 124	▲ 50	—
特別利益	2	1	+ 1	175.6%	2	+ 0	+ 3.2%
特別損失	0	0	▲ 0	88.5%	0	+ 0	+ 332.0%
純損益	▲ 172	▲ 109	▲ 63	—	▲ 122	▲ 50	—

※現金支出を伴わない費用（減価償却費など）や一般会計繰入金など12等分で算出している項目があります。

※「計画値」は、経営改革プランに掲げている年間の計画値をそれぞれ期間に応じた経過日数で除して算出しています。

（2）業務実績

項 目		計画との比較				前年度との比較		
		R 7 実績 (A)	計画値 (B)	増減値 (A)-(B)	達成率 (A)/(B)	R 6 実績 (C)	増減値 (A)-(C)	増減率 ((A)-(C))/(C)
入 院	1日平均患者数 (人/日)	104.8	121.0	▲ 16.2	86.6%	116.3	▲ 11.5	▲ 9.9%
	病床稼働率(151床) (%)	69.4	80.0	▲ 10.6	86.7%	77.0	▲ 7.6	▲ 9.9%
	新入院患者数 (人)	918	997	▲ 79	92.1%	974	▲ 56	▲ 5.7%
	平均在院日数 (日)	10.3	11.0	▲ 0.7	93.6%	10.9	▲ 0.6	▲ 5.5%
	入院診療単価 (円)	61,131	59,500	+ 1,631	102.7%	60,483	+ 648	+ 1.1%
外 来	1日平均患者数 (人/日)	359.6	390.0	▲ 30.4	92.2%	390.6	▲ 31.0	▲ 7.9%
	初診患者数 (人/日)	40.4	—	—	—	44.5	▲ 4.1	▲ 9.2%
	外来診療単価 (円)	17,321	16,650	+ 671	104.0%	16,855	+ 466	+ 2.8%
そ の 他	救急搬送要請件数 (件)	373	—	—	—	422	▲ 49	▲ 11.6%
	救急搬送受入件数 (件)	250	374	▲ 124	66.8%	280	▲ 30	▲ 10.7%
	救急搬送応需率 (%)	67.0	—	—	—	66.4	+ 0.6	+ 0.9%
	応需率(補正後)* (%)	100.0	100.0	± 0	100.0%	100.0	± 0	± 0
	紹介率 (%)	87.8	78.0	+ 9.8	112.6%	85.9	+ 1.9	+ 2.2%
	紹介件数 (件)	2,677	2,842	▲ 165	94.2%	2,934	▲ 257	▲ 8.8%
	逆紹介率 (%)	110.5	88.0	+ 22.5	125.6%	100.0	+ 10.5	+ 10.5%
	逆紹介件数 (件)	2,711	2,593	+ 118	104.6%	2,698	+ 13	+ 0.5%

※「応需率(補正後)」は、診療中などの理由でやむを得ずお断りした事例を要請件数から差し引いて算出した応需率です。